



星状神経節ブロック療法とは？

星状神経節ブロックは、ペインクリニックで、もっとも多く用いられるブロック療法の1つで頭、顔面、上肢、胸、心臓、気管支、肺等を支配している「**神経のツボ**」の様なところに薬液を注射し、一時的に神経を遮断し、悪くなった血流を改善し、痛みをやわらげる治療方法です。

この治療方法は、非常に治療効果の高い、すばらしい治療方法ではありますが、高度な技術が必要であり、針を刺す時の痛みや副作用、合併症、回数を重ねなければならない等患者にかかる負担も大きいといった問題点が指摘されています。

星状神経節近傍照射療法とは？

スーパーライザーによる星状神経節近傍照射療法は、全国80国公立大学病院中 78の国公立大学病院で使用され、神経節ブロックの補助的治療として高い評価を受けている治療方法です。

痛みもなく非侵襲であることに加え合併症や副作用の心配もなく星状神経節ブロックの70%~80%の効果を得る事ができると言われおり、100題以上臨床報告が発表されています。

【主な臨床報告】

慢性疾患（首、肩、腰、膝の痛み、リウマチ等）・血流改善（レイノー病、膠原病、冷え性など）・皮膚疾患（慢性皮膚炎、带状疱疹、アトピー性皮膚炎等）・その他（自律神経疾患、顎関節症、突発性難聴、ムチウチ、喘息、頭痛、顔面神経麻痺等）

頸椎症の患者に星状神経節照射をし、その手背温変化を経時的にみたサーモグラフィー。

- ①治療前の手背温 ③星状神経節へ10分間照射後
②仰臥位で安静10分後 ④さらに安静10分後

